

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 愛媛県新居浜市立惣開小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例: 小中高一貫 )  
所在地 〒792-0008 愛媛県新居浜市王子町1番3号  
E-mail sobe-ad@esnet.ed.jp  
Website \_\_\_\_\_  
幼児児童生徒数 男子 164名 女子 149名 合計 313名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成～学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐESD活動を通して～」活動テーマとして、「ふるさと学習」「王子ヶ丘から発信！環境教育」「命をつなぐ防災教育」「人権教育の推進」において、地域の方々との交流活動や文化施設での体験活動等、「かかわり」「つながり」を重視したESDに根ざした取組を展開し、持続可能な共創型社会の実現を目指した。また、ESDを核に、人権・同和教育の実践の成果をより深化・発展させ、学校・家庭・地域・関係機関との連携を一層推進した。

### ① ふるさと学習に係わる活動

惣開校区の歴史や産業遺跡、住友金属鉱山(株)と惣開との関わりなどについて調べる中で、新居浜の発展の歴史や誇る文化・史跡について理解し、世界の中での日本の文化の素晴らしさを実感し、伝承し守っている。

## ② 王子ヶ丘から発信！環境教育

学校に隣接する王子ヶ丘の身近な自然に触れる中で、動植物の成長や生態について理解し、命を育む自然の大切さや環境保全について自分たちにできることを発信し、行動化につなげている。

## ③ 命をつなぐ防災教育の推進 ～かけがえのない命を守るために～

南海トラフ巨大地震、火山災害、風水害、ゲリラ豪雨等、自然災害から、かけがえのない命を守るために実践的防災スキル学習や総合防災訓練、緊急地震速報訓練を取り入れた実践的な防災教育を推進した。

## ④ 人権教育

命を尊び、自分も他の人も大切に思いやることのできる人権感覚と実践力をもった児童を育成する。



① 児童が地域ウォークラリーでガイド役



② フジバカマガーデンに飛来したアサギマダラ



③ 合同総合防災訓練



④ なかま集会（人権劇）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

・ 資料映像 (新居浜太鼓祭り)
------------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・ ESD カレンダーを作成し、教科縦断的に内容を配置し、各行事との関連をもたせて計画を立てている。
- ・ 総合的な学習の時間の年間カリキュラムの見直しの実施
- ・ ESD フェスティバルを3学期に位置付け、各学年の活動内容を全校で共通理解できるよう実施している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ ESD フェスティバルを行い他学年の取組を知り、次年度への意欲付けとなっている。
- ・ 王子ヶ丘環境パネル、ESD ふるさとパネル、フジバカマガーデン、アゲハガーデンの設置など ESD 環境を整備している。
- ・ ESD 委員会を設けて、児童の主体的な活動を促している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・ 保護者や教職員へのアンケートから ESD 活動への関心や理解が広まってきているが、活動を継続していくための予算の確保が難しいように思う。
- ・ 学校評価の項目に ESD に関わる（防災・減災・ふるさと・環境・人権）領域の内容を加えて外部評価・内部評価を行っている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・ ホームページ ESD 集会 学年便り
- ・ 新居浜市民の会の近藤さんを通じて、東北の被災者の方にお手紙を届けてもらったり、八朔にメッセージを書いて届けてもらったりしたことを新聞で紹介してもらった。それらの交流の様子を「震災復興7年の歩展」で展示してもらった。児童の意欲が高まり、保護者にも児童の思いを分かりやすく伝えることができた。
- ・ えひめこども新聞で、渡り蝶アサギマダラをよぶ活動を県内に紹介できた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

鳴門教育大学、新居浜南高等学校、「新居浜市民の会」近藤千歳さん、「震災復興7年の歩展」を企画された国安登さん、食べ物調査隊、今井醤油醸造所、えひめグローバルネットワーク、愛媛大学、新居浜ひうちライオンズクラブ、愛媛県総合科学博物館、徳島県松茂町立長原小学校、愛媛マンダリンパイレーツ、地域ボランティア団体「LOVE & SMILE」、新居浜お手玉協会、新居浜市立王子幼稚園、新居浜市防災安全課、新居浜市水道総務局、日本赤十字社、愛媛県住宅建築課、泉幼稚園、金子西・中消防団、新居浜市北消防署、日本赤十字血液センター、誕生学協会

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ・ 4年生が、モザンビークの子どもたちとえひめグローバルネットの竹内さんを通して交流することができた。
- ・ 愛媛県立新居浜南高等学校のユネスコ部と本校のESD委員会が連携して、交流学习を行った。地域との協働 ESD プロジェクト「観月会」でも一緒に交流した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

- ・ 学校、保護者、地域（公民館）との連携がさらに強くなった。
- ・ 東日本大震災の被災者の方々との交流を通して、被害の様子と現状について調べ学習をしたり、自分たちにできるボランティアについて考えたりし、これまで以上に頑張りたいという気持ちを表すようになった。
- ・ 地域が活性化し、組織のネットワークのすそ野が広がってきた。
- ・ 教材を開発するために、教材研究に力を入れることができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

生活科

王子が丘探検（環境）

お手玉教室（お手玉の会）

おもちゃフェスティバル（王子幼稚園との交流）

総合的な学習の時間

食について考えよう（3年）

地域ぶらりウォーク（4年）

安全で安心なまちをまちをつくろう（少年消防クラブ活動）（4年）

王子ヶ丘の自然を守れ（5年）

地域福祉施設とつながろう（5年）

平和のためにできることを考えよう（6年）

防災・減災について考えよう（6年）

学校行事・特別活動・音楽

合同総合防災訓練、防災教室、観月会、夕涼み会、三世代交流もちつき大会、文化祭&音楽会、七草がゆ（地域との協働ESDプロジェクト）